

第一回蒸気噴出対策連絡会議（7月18日開催）について

資料に沿って事業者より噴出抑制策、濁水流出抑止策、流出水からのヒ素除去の状況、周辺環境の状況につき説明を行った後、質疑応答がなされた。出席者よりは、主に以下の点について意見や要望が述べられた。

- 7月17日15時以降は、大湯沼側へ処理水を放出していないことの確認。
- 流出状況や健康被害に関する報道内容について。
- 噴出の抑制を早められるよう取り組んでほしい。
- 体調不良者の公表内容と相談体制について。
- 住民対応は丁寧かつ納得してもらうようにしてほしい。
- 住民の不安を取り除くために、第三者の見解もとりにれた説得力をもたせてほしい。
- 今後の環境モニタリング体制について。
- 風評被害の広がりを防ぎ、早期に解消する重要性とその方策について。
- 蘭越ブランドの信用回復にむけて計画を策定してほしい。
- 政府機関の知見による事態収集にむけた支援について。
- 事業者は町との連携をつよめ、進展状況の公表をしてほしい。

以上